

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円
		特定交通安全施設等 整備事業 (主) 香住村岡線	城崎郡香住町香住		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
城崎郡香住町香住				平成 13 年度	平成 17 年度

事業目的	事業内容
<p>交通安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量の多い当該道路に自歩道を整備し、歩車分離を図るとともに交差点改良を行い、交通安全対策を推進する。 <p>健康福祉社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくり重点整備地区でバリアフリーな歩行空間を整備する。 	<p>自転車歩行者道整備</p> <p style="margin-left: 20px;">L = 1 6 0 m</p> <p style="margin-left: 20px;">W = 3 . 0 m</p>

評価視点	
(1) 必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 4,251 台/日、歩行者 202 人/日、自転車 277 台/日) ・学童・園児の交通量 (191 人/日) ・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (1 件)。 ・死傷事故率が高い。(384 人/億台 km) ・香住小学校(約 50m)、香住町役場(約 50m)、JR 香住駅等があり通行者層の幅が広い。 ・D I D 地区内での事業 ・香住小学校、香住第一中学校の通学路に指定されている。 ・福祉のまちづくり重点整備地区での事業。 ・幅広歩道の整備及び連続性確保。 ・前後の整備状況・・・村岡側整備済み。 ・地元からの事業化に対して要望あり。
その他	
(2) 有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・自歩道の整備に併せて交差点改良を実施する。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な用地取得に向けて、香住町と用地取得体制に関する協議済み。
(3) 環境適合性	透水性舗装の採用
(4) 優先性	<p>当該箇所は、D I D 内であり、周辺に JR 香住駅や香住町役場等の集客施設のある福祉のまちづくり重点地区内にあり、障害者をはじめ多様な通行状況である。その上、過去 5 年間に歩行者・自転車の交通事故が発生しており、香住小学校の通学路にも指定されている。このため、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------